

今年度（令和3年度）実施する調査について

○ JR東日本からの事業費縮減につながる可能性がある提案

JR東日本から、現在の半橋上化案よりも、通路の長さの短縮や駅施設の簡素化などによるコスト縮減につながる可能性のある提案

○ 市民等の意見やJRの提案による現「半橋上化案」の整備内容の精査

- ・ 市民等から意見として「西口トイレの整備」「半橋上化ではなく橋上化での検討」などの現在の「半橋上化案」の整備内容へ影響のある意見や「西口広場の整備」「西口駐車場の整備」など、自由通路整備に合わせた西口広場周辺の整備に関する意見
- ・ JR東日本からの通路長さ短縮の可能性と駅施設の簡素化などのコスト縮減の提案

半橋上化案の整備内容の変更と事業費の精査が必要

➡ 「JR花巻駅東西自由通路基本計画追加調査」

駅前広場の現況の調査と西口駅前広場の整備方針の検討が必要

➡ 「JR花巻駅東西駅前広場現況調査（西口広場整備方針の検討含む）」

自由通路整備に必要となる可能性があるJR東日本用地や西口駐車場等候補地の調査

➡ 「土地鑑定評価」

これらの調査結果を**市民等へ説明する必要**

①花巻駅東西自由通路整備基本計画追加調査（費用15,289千円、JR東日本）

平成30年9月に報告された花巻駅周辺整備基本調査の報告書を基に、JR東日本と施設規模の縮減を検討した半橋上化（案）で地域説明会等を実施。その中で西口トイレ整備や橋上駅を望む声があった。

また、JRの駅施設のコスト縮減方針による施設内容の見直しが必要となったことから、事業費の再積算を行うもの。

【調査内容】

○概略設計の見直し

西口トイレ設置、JR駅施設見直しとコスト削減、自由通路西側降下部の位置見直しによる通路の長さの短縮とそれによるコスト削減の検討等

○コスト削減を視野に入れた概略設計（計画案）の見直しに伴う概算事業費の精査

○半橋上駅と橋上駅の比較検討を実施。

○工程短縮を含む施工計画の見直し 等

※調査期間は、令和3年8月から令和4年6月までの予定

②花巻駅東西駅前広場現況調査業務（費用8,690千円、民間コンサルタント会社）

現況調査は、今後、自由通路整備に伴い駅前広場を整備する場合の整備方針を検討するための材料とするもの。

整備方針の検討にあたっては、現況の東西駅前広場の交通量を把握し、需要を見極めたうえで、検討する必要がある。

【調査内容】

- 東西駅前広場交通量調査（対象：歩行者、自転車、自動車、バス、タクシー）
- 交通事業者へのヒアリング（課題やニーズの把握）
- 課題の整理及び東西駅前広場の機能分担の整理
- 西口広場の整備方針の検討

③土地鑑定評価業務（費用2,053千円、土地鑑定評価士）

東西自由通路降下部分及び東西駅前広場の機能分担検討により用地を取得する場合の土地鑑定評価。併せて、西口広場周辺に駐車場や駐輪場を整備する場合の周辺用地の候補地についての土地鑑定評価を行う。